

◆委員会報告

防災管理委員会

【目的】

防災管理に関する種々の問題を検討し、防災管理体制の充実並びに適正な運営を図る。

【委員会構成】

医師1名、看護師1名、事務3名

【内容】

- ① 駐車場内での盗難が2件続けて発生したため、不審者対策について検討を行い、具体策として正面玄関及び1Fエレベータホールに監視カメラを設置した。
- ② 4月3日消火訓練、8月26日・2月24日消防設備点検、11月26日消防訓練 実施。

医療ガス安全管理委員会

【目的】

医療ガスの安全管理に関する種々の問題を検討し、医療ガス安全管理体制の充実及び適正な運用を図る。

【委員会構成】

医師1名、事務員2名

【内容】

- ① 7月17・18日に年1回の医療ガス供給設備保守点検を内村酸素㈱にて実施。
特段問題となるような不備箇所はなかった。
- ② 医療ガスに関する勉強会の開催について
全職員を対象とした医療ガスの取り扱いに関する勉強会を、年1回は開催する予定であったが実施には至らなかった。2009年度中に実施したい。

衛生委員会

【目的】

職員の健康と衛生を確保するための管理を行なうことを目的とする。

【構成】

医師2名、看護師1名、薬剤師1名、事務2名

【内容】

雇入れ時健康診断実施
特定業務従事者健康診断実施
職員健康診断実施
職員家族健康診断実施
インフルエンザ予防接種実施

院内感染対策委員会

【目的】

院内感染に関わる対策を協議し、施設内の感染状況を把握し、感染予防を推進する。

【委員会構成】

医師3名、看護師5名、薬剤師1名、臨床検査技師2名、診療放射線技師1名、事務員2名

【内容】

1. 感染レポート（月報、年報）の確認。レポート内容は、部位別病棟別培養分離菌・感受性率・耐性菌動向・入院時MRSAスクリーニング・抗酸菌動向
2. 院内の感染症対策（外来待合室処置室等の室内空間、備品設備等、手技的なもの、事故発生時の対応策、ワクチン接種等の予防策）
3. 感染サーベイランスへの取り組みについてのデータ整理
4. 抗菌薬使用実績報告
5. 感染回診（毎週金曜午後その他臨時）
6. ICT活動の支援
7. マニュアル策定、改訂審議
8. 感染対策に対する全職員向け教育活動（講演会、ポスター啓蒙活動）

医療事故防止委員会

【目的】

医療事故予防・再発防止対策ならびに発生時の適切な対応など、当院における医療安全体制を確立し、適切かつ安全な医療、及び患者中心の医療サービスの提供をはかることを目的とする。

【委員会構成】

医師3名、看護師5名、薬剤師1名、臨床検査技師2名、事務員2名、リハビリ1名、診療放射線技師1名

【内容】

1. インシデント・アクシデントレポートの報告・分析
2. インシデント・アクシデントレポートの見直し
3. インシデント・アクシデント防止のための対策
・「注射剤情報集」の周知徹底
・弾性ストッキング導入に際し、褥瘡防止対策
・患者誤認に対しマニュアルの厳守と確認の周知徹底
・衝撃吸収マットのデモ導入
・輸血時の勉強会開催。マニュアル周知
・血小板輸血時専用ルートへの払い出し時に、輸血とルートを渡す
・アレルギーカードの作成徹底とカルテの表示徹底
・検査時の患者待たせた事に関して、呼び出し方法の変更
4. 針刺し事故防止対策
・ハリボックスの見直しと看護師全員アンケート調査
・新しい針容器の導入と看護師全員のアンケート調査
・新人看護師の末梢静脈点滴開始時、リスクの内容を行う
・安全キャップ付き翼状針の看護師全員指導
5. 医療事故防止対策委員会規約の一部改定
6. 安全管理活動規定の一部改定
7. 新人教育・新人教育研修・医療事故防止と院内感染対策
8. 車椅子清掃点検、マニュアル作成・実施

9. インフルエンザ治療薬に関する周知
10. 小委員会の開催（第2月曜日）
11. 職員向け医療事故防止対策の講演会の実施
 - ①2008年7月30日・8月28日
 - ・事例を用いてRCA分析演習グループワーク
 - ・「患者誤認」「レントゲン撮影の誤確認」
 - ②2009年3月25日
 - ・済生会本部研修 医療安全推進会議報告
 - ・RCA分析後の報告
 - ・RCA分析後の報告
 - ・インシデント・アクシデント報告
 - ・針刺し事故報告
 - ・ハイリスク薬の適性使用について
12. 委員会メンバーの研修会参加・報告
2008年11月17日 「医療安全推進会議」
13. 院外からの事故報告の情報収集と職員への周知
「伝達されなかった指示変更」、「抗がん剤過剰投与による患者死亡事故」
「処方入力の際の単位間違え」、「化学療法の治療計画の処方間違え」
「気管挿管患者の気管チューブと酸素チューブ誤接続による事故」
「血糖測定器の使用上の注意」、「人工呼吸器回路接続間違い」
「血糖測定器への指定外の試薬取り付け」、「口頭指示による薬剤量間違え」
14. 医薬品安全使用のための業務手順書改訂（2009年1月）
15. 安全管理が必要な医薬品の院内HP「文書ライブラリー」へ掲示

輸血委員会

【目的】

安全で適正な、輸血療法を推進する。

【委員会構成】

医師2名、看護師3名、薬剤師1名、臨床検査技師2名、事務員2名

【内容】

1. 月末院内在庫数・月間使用数の報告
2. 輸血副作用発生の監視、報告
3. 輸血に関わる医療事故防止策の策定
4. 適正使用への働きかけ
5. 運用体制の確立、業務の見直しに係わる協議、策定

栄養管理・NST委員会

【目的】

栄養管理業務・NST活動に関する事項について検討、対策を行うことを目的とする。

【委員会構成】

医師1名、看護師4名、薬剤師1名、臨床検査技師1名、言語聴覚士1名、作業療法士1名、管理栄養士1名

【内容】

- ・委員会の開催（毎月第2水曜日）
- ・NST回診の実施（毎週水曜日）
- ・NST勉強会の開催
（第2水曜日：2008.8月～2009.1月）
- ・NSTマニュアル改訂
- ・嚥下マニュアル改訂
- ・NST介入患者の分析
- ・給食管理業務に関する事項についての検討、対策

褥瘡管理委員会

【目的】

褥瘡に関する調査、対策、整備を行う

【委員会構成】

医師1名、看護師3名、臨床検査技師1名、管理栄養士1名、薬剤師1名

【内容】

- ・委員会の開催（偶数月第2火曜日に実施）
- ・褥瘡回診の実施・徹底（第2・4火曜日 15時から）
- ・事例紹介・検討
- ・褥瘡管理業務に関する必要事項の検討・対策
- ・褥瘡対策・褥瘡管理のマニュアルの見直し・改訂
- ・院内勉強会の開催

救急運営委員会

【目的】

救急医療を円滑に運営するための対策案の検討とそれを実施する為協議検討することを目的とする。

【委員会構成】

医師全員
看護師5名、薬剤師1名、臨床検査技師1名、診療放射線技師1名、事務員1名

【内容】

- ・救急症例検討会の開催
- ・救急医療実施上の問題点の検討

臨床検査検討委員会

【目的】

臨床検査の適正化及び効率的運営を目指すために、精度管理等、具体的事項について審議し、関係各部署間の情報伝達と連絡調整を図る。

【委員会構成】

医師1名、看護師4名、検査技師5名（オブザーバー3名）、事務員1名

【内容】

- ・臨床検査精度管理調査報告
- ・器材購入について

- ①HbA1c測定機 →購入
- ②HBs 抗原測定機・病棟採血管準備システム導入→見送り
- ・診療報酬改定報告
- ・セット検査作成（腰麻セット、手術前(麻酔)セット、ポリベクセット）
- ・エコー検査予約枠変更
- ・オーダリング稼働に向けた取り組み
- ・検査に関するレセプト査定結果報告

診療情報管理委員会

【目的】

診療情報の適切な管理により診療、調査研究、教育、法的資料、情報開示などの資料として有用に利用することで、安心・安全で質の高い医療の実現を図る。

【委員会構成】

医師2名、看護師2名、事務員2名

【内容】

- ・外来カルテのサマライズ実施
- ・入院カルテホルダーを1患者1ホルダーへ変更（最新退院年度を表示）
- ・退院後2週間以内の医師・看護サマリー、医師中間サマリー作成依頼
- ・診療録、医療副産物、フィルム等の管理
- ・外部への診療情報提供についての対応

医療倫理委員会

【目的】

医療倫理問題に関する審議・上申を行う。

【委員会構成】

医師2名、看護師5名、薬剤師1名、リハビリ1名、事務員2名、医療ソーシャルワーカー1名

【内容】

- ・計11回開催。2007年度に引き続きオブザーバーとして若手スタッフ（看護師、MSW、リハ、事務員）も参加した。
- ・医療現場で生じている「倫理的問題」を中心に職種横断的に議論を行い、現場での実情を共有することにより当院での対応策を手探りではあるが導き出すことができた。
- ・「倫理的問題」を身近なものとしてスタッフ各々が認識を新たに、少しずつではあるが倫理観を養うことができた。
- ・年度末に当委員会主催の職員向け研修会も開催。

2009年度は、もう1ランクアップした質の高い議論と、職員研修を遂行できるよう活動していく。

薬事審議委員会

【目的】

薬事に関する審議・上申を行う

【委員会構成】

医師1名、看護師1名、薬剤師1名、事務員2名

【内容】

- ・新規採用薬・削除薬の検討をはじめ、医薬品の適正使用の推進を目的とし、計9回の審議を行った。
- ・11品目を採用、8品目を削除とした。
- ・院内発生副作用情報も積極的に収集し、情報共有に努めた。

【2009年度】

- ・2009年度は、脳外科医師着任に伴い、中枢領域の医薬品の見直し、後発医薬品の採用等々、採用薬の再構築と、医薬品のさらなる適正使用管理に努めていく。
- ・電子カルテを有効活用した医薬品の安全管理を推進していく。

診療機材購入検討委員会

【目的】

診療材料・機械等に関する審議・上申

【委員会構成】

医師2名、看護師2名、薬剤師1名、事務員2名

【内容】

- ・2008年度医療機器等導入実績
 - 自動血球分析装置
 - 自動血液凝固測定装置
 - 全自動HbA1c測定装置
 - エアードリル
 - 泌尿器科用検診台
 - プレスタンド
 - マンモグラフィー診察用高輝度シャーカステン
 - 車椅子 ×10台
 - 上部消化管ビデオスコープ&洗浄ポンプ
 - 手術用フットポンプ
 - ハーモニックⅡ（超音波凝固切開装置）
 - シリンジポンプ ×2台
 - 輸液ポンプ ×4台
 - ウォームタッチ（術中の保温機器）
 - コールドワゴン（移動式冷蔵庫）
- ・2009年度医療機器等導入検討
 - 脳外手術器材（顕微鏡、ドリル等）
 - 心電計 ×3台（病棟用2、救外1）
 - 心電計 ×1台（検査室用）
 - 運動負荷装置（本体、心電計、血圧計等）
 - 医用テレメータ
 - ベッドサイドモニタ
 - 自動血圧計 ×3
 - パルスオキシメータ ×2
 - 腹腔鏡用持針器
 - 干渉電流型低周波治療器

- 徒手筋力センサー
- 高機能車椅子
- バッテリーテスター
- 内視鏡用炭酸ガス送気装置
- 膀胱内圧測定装置Ver. UP
- ・その他検討
- 放射線機器高額修理、検査機器保守点検契約 等々

- ⑦地域急性期病院・介護施設への営業活動(MSW)、院外向けパンフレットの作成
- ⑧入院患者向け勉強会の開催（3月24日）
⇒「転倒予防について：田中PT、岩崎OT」
- ⑨居室での活動性向上目的にて、肘掛け椅子（5脚）の購入
- ⑩浴室の改修

外来検討委員会

【目的】

外来診療業務を円滑に運用し、外来患者の顧客満足度を向上するために、外来診療業務に関する事項を検討・実施することを目的とする。

【委員会構成】

医師2名、看護師2名、薬剤師1名、放射線技師1名、臨床検査技師1名、リハビリスタッフ2名、事務員1名

【内容】

- ・外来患者待ち時間調査（10月）
- ・外来患者満足度調査（10月）
- ・外来待ち時間・満足度調査結果の報告（3月朝礼）
- ・待ち時間の有効利用についての検討
- ・各部署からの問題事項に対する検討

回復期リハビリテーション病棟運営委員会

【目的】

回復期リハビリテーション病棟の業務を円滑に運用し、他部門との連携を良好に保つために、その運営方法について考える。また、リハビリテーションに関わる医療・看護・介護の質の向上を図ることを目的とする。

【委員会構成】

医師1名、看護師2名、リハビリスタッフ3名
医療ソーシャルワーカー1名、事務員2名

【内容】

- ①FIM勉強会の実施（毎月1回・後半はテスト形式にて実施）
- ②院内全スタッフ向け勉強会の開催（10月7日・21日）
⇒目的：回復期リハビリテーション病棟の理解を深め、患者の退院に向けた支援をスムーズに行うため。スタッフの知識共有のため。
- ③新人スタッフ向け勉強会の実施（4月～5月：全16回）
- ④病床管理の報告、入棟基準の改定
- ⑤地域連携パスの協力、院内運営の管理
- ⑥全国回復期リハビリテーション病棟連絡協議会研究大会での発表（2月14日・15日：大阪にて）
 - ・「当院回復期リハビリテーション病棟における入浴介助の基準～FIMを利用したアルゴリズムと評価用紙の作成：園田Ns.」
 - ・「当院のFIMを利用した入浴動作評価表運用報告～入浴評価実施後に見えてきた改善点と今後の課題：衛藤PT」

医療サービス向上委員会

【目的】

病院全体、各部署、委員会の「医療サービスの質向上に関する項目」について横断的に情報収集・ヒアリングを実施し、評価や改善に向けた提案等を行い、医療サービスの向上を図ることである。

【委員会構成】

医師1名、看護師4名、理学療法士1名、臨床検査技師1名、診療放射線技師1名、医療ソーシャルワーカー1名、事務員1名

【内容】

- ・2005年5月に委員会を開設。毎月1回実施。
- ・オアシス運動の実施
（2005年8月より、2カ月に1回開催）。
- ・ご意見箱の運用体制の構築。
（2005年12月より運用開始。翌月から、患者のクレームに対する回答を院内に掲示）
- ・「医療サービスの向上」に関するヒアリング（各部署）の実施。
- ・他施設への見学。

教育委員会

【目的】

全職員を対象にした研修会・勉強会等に関する事項を検討・実施することを目的とする。

【委員会構成】

医師1名、看護師3名、診療放射線技師1名、理学療法士1名、事務員2名

【内容】

1. 全職員に対して、以下の研修会・講習会を実施した
 - ①階層別研修会
 - ・新入職員研修会（新入職員）
 - ・2年目フォローアップ研修会（主に2年目職員）
 - ・係長・主任研修会（幹部・リーダー研修会参加者除く係長・主任）
 - ・中堅職員研修会（原則4年目職員）
 - ・幹部・リーダー研修会（幹部・医師・所属長）
 - ②全職員を対象とした研修会
 - ・メンタルヘルスケア・院内感染・医療事故防止（RCAグループワーク）
 - ・緩和ケア・コミュニケーションスキル・BLS講習会・介護保険制度勉強会
2. 全職員向けの部署毎の年間教育プログラムを作成し、

冊子にして全職員に配布

3. 看護部については、経年度毎に以下の勉強会を実施
- ・新人看護師については病態生理の理解し、看護課程の展開が出来ることを目的とした事例発表7名
 - ・卒後2年目看護師については看護理論の学習を通して自己の看護観を高め、看護課程の展開が出来ることを目的とした事例発表4名、患者体験発表4名
 - ・卒後3年目看護師について看護研究の研修会（看護協会主催）に参加し、看護研究の取り組み9題
 - ・中堅看護師について看護単位毎に院内看護研究発表4題
 - ・疾患、看護、創傷ケア、委員会活動等の定期的な勉強会を年間60回開催

連携協議会

【目的】

関連医療・福祉機関との病診・病病連携を円滑に行うため、連携の実情を調査し、他の医療施設との連絡・調整を行う。

【委員会構成】

医師1名、看護師4名、理学療法士1名、事務員1名、医療ソーシャルワーカー2名

【内容】

- ・地域の施設・病院等の訪問について検討、訪問
- ・第11回学術講演会・病診連携会議開催（6月24日(火)）
「効果的な院内感染防止対策
—活用できるマニュアル作成と実践につながる教育—
講演会123名、懇親会55名参加
- ・みなと祭り（7月27日(日)）
「踊りパレード」参加（練習・企画・進行）
参加者総数70名
- ・宇土郡市医師会主催ミニバレー・綱引き大会参加
（10月11日(土)）（練習・企画・準備）
参加者総数23名（綱引き 優勝）
- ・五橋エリアの医療福祉を考える会開催（2月18日(水)）
「みんなで語ろう よりよい連携のあり方
—地域でできるだけ長く暮らしていくために—
54名参加
- ・クリスマスの集い開催（12月13日(土)）
（職員演奏・三角小学校・三角中学校の生徒さん
・大正琴の会ボランティア参加）
ボランティア参加者の練習風景等のスライドショー
クリスマスの集いについてのアンケート実施・反省・
検討
- ・出前健康講座開催（18回開催） 参加者総数500名
- ・「診療体制のご案内」発行・・・熊本病院の協力
- ・外来一覧表・各種研修会の情報の配布
（近隣医療・福祉施設約110施設 毎月1回）

広報委員会

【目的】

病院の内外の広報に関する事項を患者及び住民・他の医療機関へ当院を広く知って頂くために広報誌・ホームページ等の作成・整備及び講演活動の計画・その他広報を検討・実施する。また、職員に対しての院内広報を行う。

【委員会構成】

医師1名、看護師3名、薬剤師1名、診療放射線技師1名、臨床検査技師2名、事務員4名

【内容】

- ・2007年報内容検討・校正・印刷
- ・院内誌「済生くまもと」第72号、73号、74号内容検討
- ・ホームページ更新、チェック、指導（1回/2カ月）
- ・院内掲示物チェック、指導（1回/1カ月）
- ・患者向け院外誌「さいせい」第18号、19号の内容検討・校正・印刷
- ・「職員手帳」内容検討、印刷
- ・2008年報内容検討

職場改善委員会

【目的】

職員間のコミュニケーションを図り、現場の声を反映させて働きやすい職場作りをし、職員の処遇や福利厚生を考えていく。

【委員会構成】

医師1名、看護師4名、看護助手、薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師、理学療法士、栄養管理師 各1名、事務員2名

【内容】

- ・職場改善委員会に出された意見を病院側に反映
- ・職員意見箱の回収（男性、女性、医局ロッカー）
月一回（第一月曜）の職場会開催日に回収し、出された意見を委員内で検討後、
病院・担当部署・委員会などに要望し改善をはかる
- ・職員の福利厚生に係わる年間行事検討・実施
新人歓迎ボウリング大会の計画
（6/20(金) 宇土パスカワールド）
職員旅行の計画
（9/21(日) プロ野球観戦ツアー or ミュージカル鑑賞ツアー）
忘年会内容検討、司会、進行
（前半12/12(金) 後半12/19(金)）
- ・イベント行事への参加
みなと祭（7/22(日)）
医師会主催ミニバレー大会（10/11(土)）
- ・創立記念イベントの企画運営（2/28(土)）

緩和ケア委員会

【目的】

「がん患者のQOL向上を目指し、全人的苦悩の緩和を目的とする」

【委員会構成】

医師2名、看護師3名、薬剤師1名、
リハビリスタッフ1名、医療ソーシャルワーカー1名

【内容】

- ・緩和ケア回診（毎週木曜日）
- ・和ケア症例検討会、デスクカンファレンスの開催（2カ月に一度）
- ・三角・上天草地区緩和ケア学術講演会開催（2008年9月）
- ・緩和ケアに関するパンフレットの整備
- ・緩和ケアポケットガイドの作成

医療情報化電子化プロジェクト

【目的】

病院情報の電子化に向けた取組をする

【委員会構成】

医師3名、看護師2名、臨床検査技師2名、
薬剤師、診療放射線技師、薬剤師、リハビリ各1名、
事務員5名

【内容】

- ・2008年度実績
 - 4月 メーカー選定を目的に、電子カルテメーカー2社の導入病院を見学
 - 5月 プロジェクトにて、電子カルテメーカー1社を最終選定
 - 9月 支部会議にて承認後、発注
 - 10月 部門別打ち合わせスタート（前期稼働分）
 - 11月 院内ネットワーク工事
 - 1月 操作研修
 - 2月 外来リハーサル（2回）、病棟説明会
 - 3月 前期オーダーリングシステム稼働
（処方・検体・放射線・生理・入院・食事・予約・文書作成）
医事会計システム更新
- ・2009年度予定
 - 7月 稼働予定システム
後期オーダーリングシステム
（注射・処置・病名・病理・細菌・輸血・手術・パス）
電子カルテ（外来・入院）
看護支援システム
フィルムレス
部門システム（細菌・輸血・リハビリ）

病床管理会議

【目的】

1. 入・退院に関する事項及び一般病床・回復期病床・亜急性期病床の適正運用を推進するために協議し方向性を決定する
2. 満床の場合の応需対策、空床の場合の患者確保や効率的運用対策など具体的施策の立案・調整を図る
3. 病床利用率85%以上を目指す施策を推進する
4. その他病床運営に必要な事項を検討・実践する

【委員会構成】

入院患者主治医の常勤医師、看護師4名、
リハビリスタッフ4名、事務員1名、
医療ソーシャルワーカー2名

【内容】

- ・開催日 毎週水曜日 17:00-17:30
- ・会議開催の前週の実績（病床稼働状況、各病床の病床利用率、平均在院日数、紹介・逆紹介件数の実績）の確認
- ・患者状況等に応じて回復期や亜急性期病床へ転科促進。
→ 救急患者用のベッド確保、長期入院患者の把握等適切な病床利用に向けた協議